

様式第2 (第4条関係)

製造所
危険物 貯蔵所 設置許可申請書
取扱所

(1) ○○年○○月○○日			
岳南広域消防組合			
組合長		殿	
申請者			
(2) 住所 <u>中野市○○ ○○番地</u> (電話 <u>00-0000</u>)			
氏名 <u>○○ ○○</u>			
(3)設置者	住所	中野市○○ ○○番地 電話 00-0000	
	氏名	○○ ○○	
(4) 設置場所	中野市○○ ○○番地		
(5)設置場所の地域別	防火地域別	用途地域別	
	準防火地域	工業地域	
(6) 製造所等の別	貯蔵所	(7)貯蔵所又は取扱所の区分	地下タンク貯蔵所
(8)危険物の類、品名 (指定数量)、最大数量	第4類 第2石油類 軽油8000L	(9)指定数量 の倍数	8倍
(10)位置、構造及び設備の 基準に係る区分	令 第 13 条 第 2 項 (規則第 条 第 項)		
(11)位置、構造、設備の概要	別添添付書類のとおり		
(12)危険物の貯蔵又は 取扱方法の概要	地下貯蔵タンクに貯蔵している軽油をギアポンプにて建物内ボイラー室に供給するもの		
(13)着工予定期日	00年00月00日	完成予定期日	00年00月00日
(14)その他必要な事項			
※ 受付欄		※ 経過欄	
		許可年月日 許可番号	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 この設置許可申請書は、移送取扱所以外の製造所等に用いるものであること。
- 3 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 4 品名(指定数量)の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に()内に該当する指定数量を記載すること。
- 5 位置、構造及び設備の基準に係る区分の欄には、適用を受けようとする危険物の規制に関する政令の条文を記入すること。危険物の規制に関する規則の適用条文の記載がさらに必要な場合は()内に記載すること
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。

【危険物 設置許可申請書 記入要領】

届出名称	製造所、貯蔵所、取扱所の該当しないものに——を引いて下さい。	
(1)年月日	申請書の提出年月日を記入して下さい。	
(2)申請者	住所	原則として当該危険物施設を設置者の住所、氏名を記入して下さい。 申請者が法人の場合は、名称、代表者の職、氏名及び事務所の所在地を記入して下さい。申請手続きを代理人が行う場合は、委任状を添付して下さい。 長野県外の方は、都道府県から記入して下さい。
	氏名	
(3)設置者	申請者（代理人は除く。）と同一者名を記入して下さい。	
(4)設置場所	危険物施設を設置する所在地を記入して下さい。	
(5)設置場所の地域別	都市計画図により確認し、記入して下さい。	
(6)製造所等の別	製造所、貯蔵所又は取扱所の別を記入して下さい。	
(7)貯蔵所又は取扱所の区分	危政令第2条及び第3条に掲げる施設区分（同令第3条第2号イ及びロを含む。）を記入して下さい。製造所の場合は斜線により抹消して下さい。 例）地下タンク貯蔵所、一般取扱所 等	
(8)危険物の類、品名（指定数量）、最大数量	法別表に掲げる類、品名を記入して下さい。 最大数量は、貯蔵し、取り扱う危険物の最大数量を記入して下さい。 製造所（一般取扱所）にあっては、原料危険物、中間危険物及び製品危険物のすべてを記入するとともに、危険物の類、品名、最大数量を算出した経過を示す説明書を添付して下さい。	
(9)指定数量の倍数	申請する品名の最大容量をその指定数量で除した値を記入して下さい。	
(10)位置、構造及び設備の基準に係る区分	当該製造所等に適用される位置、構造及び設備の基準に従い条項を記入して下さい。	
(11)位置、構造、設備の概要	危険物施設の形態を簡記して下さい。	
(12)危険物の貯蔵又は取扱方法の概要	概要を簡記して下さい。	
(13)着工予定期日、完成予定期日	「許可後即日」及び「着工後何日」等と記入して下さい。	
(14)その他必要な事項	引火点が40度未満の危険物を貯蔵し、又は取り扱う場合は、その旨（「危険物の品名」欄に例えば「ガソリン」と記入されているなど明らかな場合は除く。） 屋外タンク貯蔵所又は地下タンク貯蔵所にあっては、危険物の受入種別（例えば「タンカーからの受け入れ」、「製造施設から受け入れ」等と記入する。）及び供給先施設における危険物の1日の取扱数量。 移動タンク貯蔵所にあっては、車種及び常置場所に空車で置く旨。 給油取扱所にあっては、元売会社名、注入口の型式等。	